

学会便り 第146回春期大会報告

第36回「女性会員の会」報告

The 36th women's meeting of the Japan Institute of Light Metals

大島 智子

Tomoko OHSHIMA

4回目のハイブリッド開催となった第146回春期大会中、5月11日(土)12:10~13:10に入退室自由の、第36回女性会員の会をハイブリッドで開催した。参加者は合計22名(女性16名、男性6名)。現地参加は19名、オンライン参加は3名だった。参加申込みが間に合わず、飛び入り参加となった方も数名おられた。また、初参加は社会人1名と学生2名の計3名だった。託児室を利用したお子さんが3名参加し、にぎやかな時間となった。

前回に引き続き、より多くの方に参加いただくために今回も講演大会に参加登録していない人も参加できるようにした。会場にはお弁当と東海4県のお菓子を用意し、4~6名が対面で話ができるような机の配置にして交流を図った。

お菓子：なごや天麩羅、旅まくら、シュガーバターの木抹茶チョコ、山ノ葉、安永餅、うなぎパイ(世話人)、富山キャラメルチョコレートクッキー(差入：谷畑 弘之さん)、わさびピスタチオ、明太子そら豆(差入：関 史江先生)、なごみるく(差入：高松 聖美先生)。

学会託児室を設置し、土日に延べ6名の利用があった。この場を借りて、名古屋大学の小橋 眞先生ならびに実行委員会の皆様に深く感謝申しあげる。

1. 自己紹介：氏名・所属、ひとこと

初参加者は簡単な自己紹介、常連は司会者から名前を紹介した後に「リアルブレイクアウトルーム」と銘打って昼食をとったグループとオンライン参加のグループに分かれて複数の提示テーマ(ゴールデンウィーク中にこれすごい!と思ったこと、私の考えるこれからのキャリアプラン、その他)のうち1つのテーマを選んで話をしていた。

1.1 グループごとの討議

「ゴールデンウィーク中にこれすごい!と思ったこと」では、海外赴任中の方が一時帰国をして日本の物価の高さに驚いたという経験が語られた。「これからのキャリアプラン」を複数のグループが選択し、博士を取った後のキャリアプランをどう考えるか、5年先・10年先にどうしたいかを考えるとよいといった意見交換がなされた。

少人数に分かれての討議は活発な意見交換の場になり、今回も予定時間を超えて盛り上がった。

1.2 フリー討議

中締め後にオンライン参加・現地参加者で討議を行った。



参加者の写真撮影(2024.5.11)

中国からの参加者に現在の生活や職場環境について話をうかがった。職場には女性技術者が約30%在籍し、育児と仕事を両立させている方もいるとのこと。学業成績が優秀な女子学生を理工系に進学させる国策を取っているそうで、中国の人材育成方法は興味深いと感じた。

2. 学会託児室

軽金属学会の講演大会で託児室を初めて設置・運営したのは2011年の名古屋大学で開催した第120回春期大会だった。利用者がいないときもあったが、ここ数年は1~3名ほどの利用が続いている。託児室が常設されていることで子育て中の研究者が大会に参加でき、今後の研究成果につながることを期待している。

3. おわりに

次の第147回秋期大会でも女性会員の会の開催を予定している。女性会員の会は女子学生、女性会員だけでなく、女性を応援する男性方も歓迎している。飛び入り参加大歓迎、多くの方の参加をお待ちしている。

軽金属学会「女性会員の会」

<https://www.jilm.or.jp/page-resource04>